

第5章 平成27年度（平成26年度対象） 点検・評価結果

徳島県教育振興計画(第2期) 平成26年度 成果指標進捗状況等

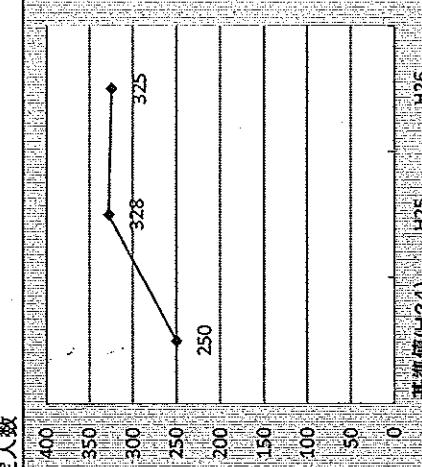
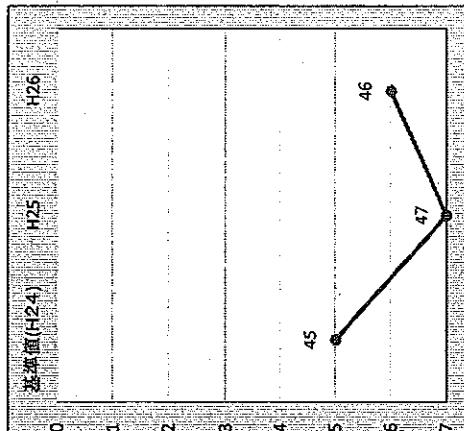
番号		施策・成果指標		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針					
番号	推進項目	施策・成果指標							
1	キャリア教育の推進体制の確立及び充実 キャリア教育推進計画の策定・推進	平成25年度に策定した「徳島県キャリア教育推進指針」を学校・家庭・地域に周知し、学校が組織的にキャリア教育による「講演・取出前授業」の実施などを、学校におけるキャリア教育を推進するための支援を図る。						事業目的 取組状況(H26年度分)	
		学校関係者・経済団体・有識者等から組織する「徳島県キャリア教育推進協議会」を開催し、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進を行ふとともに、経済団体・企業など、学校におけるキャリア教育推進に向けた取組みを図る。						(単位: -)	
		基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)
		-	策定	推進				推進	推進
		(成果) 「徳島県キャリア教育推進協議会」での協議内容に延づき、キャリア教育を推進する上で必要な全体会員作成に向けての教職員研修会や経済団体・企業等と連携した「講演・取出前授業」、教員対象企業見学・企業への理解が深まった。						評価	
		(課題) 家庭・企業への「徳島県キャリア教育推進指針」の周知が不十分であるとともに、学校・企業間連携を促進するために相互理解を図ることが必要である。						今後の取組方針	
		「徳島県キャリア教育推進指針」の内容を経済団体・企業等の会議やPTA研修会において周知するとともに、「徳島県キャリア教育推進協議会」を開催することにより、学校・家庭・経済団体・企業が連携・協働したキャリア教育を推進する。						(単位: -)	
2	担当課 学校政策課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針						事業目的 取組状況(H26年度分)	
	担当課 学校政策課	児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。						評価	
		基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)
		77.3	82.9	82.9				+2.9%	80 80以上
		(成果) 「県立施設におけるインターネットシップ促進事業」「専門高校コンソーシアム事業」「あわ教育サポートデータベースシステム」の活用等により、多くの高校でインターネットシップを実施しているが、インターネットシップ体験者人数を増やしていく必要があります。また、全日制のインターネットシップ実施率が94%を超えており、今後、目標値を達成するためには、定時制のインターネットシップの実施率を向上させる必要がある。生徒の多様な希望に対応するため、「あわ教育サポートデータベースシステム」のさらなる充実も必要であり、また、「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題に対応していく必要があります。						今後の取組方針	
		(課題) あわ教育サポートデータベースシステムの充実や利用促進を図るとともに、平成27年度は「高校生キャリアアップ推進事業」を実施し、キャリア教育推進のモデル事業として、効果的な実施方法等について調査研究して見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。						(単位: %)	
		(成果) 「県立施設におけるインターネットシップ促進事業」「専門高校コンソーシアム事業」「あわ教育サポートデータベースシステム」の活用等により、多くの高校でインターネットシップを実施しているが、インターネットシップ体験者人数を増やしていく必要があります。また、全日制のインターネットシップ実施率が94%を超えており、今後、目標値を達成するためには、定時制のインターネットシップの実施率を向上させる必要がある。生徒の多様な希望に対応するため、「あわ教育サポートデータベースシステム」のさらなる充実も必要であり、また、「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題に対応していく必要があります。						評価	
		基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)
		77.3	82.9	82.9				+2.9%	80 80以上
		(課題) あわ教育サポートデータベースシステムの充実や利用促進を図るとともに、平成27年度は「高校生キャリアアップ推進事業」を実施し、キャリア教育推進のモデル事業として、効果的な実施方法等について調査研究して見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。						今後の取組方針	
		(成果) 「あわ教育サポートデータベースシステム」の内容の充実や利用促進を図るとともに、平成27年度は「高校生キャリアアップ推進事業」を実施し、キャリア教育推進のモデル事業として、効果的な実施方法等について調査研究して見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。						(単位: -)	
		基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)
		0	77.3	82.9	82.9			+2.9%	80 80以上

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針							
		基準値(H23)	実績値(H25)		H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	
3	私立中学校における職場体験の実施率	96.5	100.0	事業目的 取組状況 (H26年度 分)	児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験実施に向けた依頼を行った。また、職場体験受入先を充実を図った。	各市町村教育委員長や中学校長が集まる会において、職場体験の必要性を伝えるなどして職場体験実施について新規の受入先を作成し配布を行った。「あわ教育サポート企業等データベースシステム」	(成果) これまでの啓発活動により、職場体験実施率は100%となっており、今後はこの実施率を継続させていきたい。	96.5	100.0	100.0%	100	100
	評価	96.5	100.0	(課題) 生徒の多様な希望に対応するため「あわ教育サポート企業等データベースシステム」のさらなる充実、また、「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題に対応していく必要がある。	「あわ教育サポート企業等データベースシステム」の内容の充実や利用促進を図るとともに、職場体験の効果的・効率的な実施方法等について調査研究していく。	96.5	100.0	100.0%	100	100		
4	担当課 学校政策課	基準値(H23)	実績値(H25)	事業目的 取組方針	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針							
	施策・成果指標	基準値(H23)	実績値(H25)	専門教育の一層の高度化を図るために、企業や大学、県の試験研究機関等と協働した施策や事業を積極的に行う。	阿南工業高校、吉野川高校、三好高校の3校で各企業や団体等から原材料や技術を提供してもらい、阿南工業高校では、JIDを用いたインテリア製品、吉野川高校は地方・生糸認定教師による野菜を採取できる弁当等の商品開発、三好高校はそば栽培の技術指導及びそば麩を原料にした商品開発等積極的な連携を進めることができた。	(成果) 本事業により、専門高校の生徒の創造力や専門的技術・技能を生かした実践的な取組を行うことができ、専門的な技術・技能の深化を図ることができた。	3	6	9	9	18	
4	担当課 学校政策課	基準値(H24)	実績値(H25)	事業目的 取組方針	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針							
	施策・成果指標	基準値(H24)	実績値(H25)	(課題) 本事業の一層の推進に向けて、多くの専門高校が、企業や大学、県の試験研究機関等と連携を深めることができるように支援していく必要がある。	平成27年度については、3校程度を認定し、引き続き専門的な技術・技能の深化を図る。累積で12校の取組を予定している。平成27年度から、「産学官連携・高大連携の推進」の成果指標として「6次産業化商品のプロデュース数」を新たに設定する。	3	6	9	9	18		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
5	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 大学から高校へ出向き行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施	事業目的 徳島県内の大学と徳島県教育委員会における連絡協議会における連絡に賜る高等学校会の事業として、県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、各高等学校に積極的な利用を推奨した。 取組状況(H26年度分) 基準値 H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H29) － 推進 推進 / / / / / / / / (単位：－)
			評価 (課題) 各高等学校で、出張講義の積極的な活用がなされた。
			事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 （課題）高等学校のニーズと大学が提供する講義のマッチングをさらに図っていく必要がある。
			評価 毎年度「県内5大学出張講義一覧」を更新して、各高等学校に広報していく。
			今後の取組方針
番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
6	グローバル化に対応した教育の推進	外国语(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期留学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進	事業目的 「グローバルチャレンジ支援事業」により、小学生には外国語指導助手(ALT)とのデイキャンプ、中学生には海外学修の支援、高校生にはニンジャーサークセシングとの中の英語を実施するとともに、児童生徒のグローバルマインドを育成した。 取組状況(H26年度分) 基準値 H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H29) － 推進 推進 / / / / / / (単位：－)
			評価 (結果) 児童生徒が体験的に英語を学んだり世界を体験する機会を提供し、国際理解教育・国際交流の推進やグローバルマインドの育成を図ることができた。また、新学習指導要領を元滑に実施するため、各学校での英語指導改善を図ることができた。 (課題) 高校生の海外留学促進に加え、より多くの児童生徒がグローバルな視野を持つことができる機会を拡充する必要がある。
			今後の取組方針 高生が英語で体験的に学ぶ機会を拡充するため、海外留学(短期派遣及び長期派遣)する高校生数の増加を図ることも、小・中・高等学校を通じて、県内においても世界を体感できる機会の創設・充実を図る。 平成27年度から、「外国语(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進」の成果指標として「高校生の留学(疑似留学体験、海外語学研修を含む)者数」を新たに設定する。
			担当課 学校政策課

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
7	帰国・外国人児童生徒に対する教育の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進	ICTを活用した授業実践の研修参加者数	<p>事業目的 帰国・外国人児童生徒に対する教育の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進</p> <p>取組状況(H26年度分) 「帰国・外国人児童生徒 “いきいき”モデル事業」、「帰国・外国人児童生徒支援事業」により、日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒に対して日本語教師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、日本語教育とともに、学校団体や国際交流協会、大学との連絡協議会や、日本語講師や学校の教員等を対象とした研修会を実施するとともに、学校が受入の際に後立つWE Bページによる情報提供のページを追加するなど、支援体制の充実を行った。</p> <p>評価 (成績) 帰国・外国人児童生徒とのネットワークが構築され、学校に日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際に必要な支援が実施できるようになった。</p> <p>(課題) 外国人児童生徒の増加に伴い、日本語指導や通訳ができる人材確保がさらには必要である。</p> <p>今後の取組方針 日本語教師の指導力向上を図るために研修の実施により帰国・外国人児童生徒への支援体制の充実を図るとともに、市町村との連携を図り、日本語講師、通訳講師の派遣・拡充など、支援体制のさらなる充実を図る。</p>
8	担当課 学校政策課	ICTを活用した授業の推進	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>取組状況(H26年度分) 1 初任者研修、10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた授業形式の研修を実施した。 2 希望者を対象とした研修において、学校でのICT活用を想定した研修講座を実施した。(7講座10回)</p> <p>評価 (成績) 文部科学省「教育の情報化に関する手引」に示された「教員に必要となるICT活用指導力」の内容に沿った研修を実施したことにより、授業におけるICTの活用について、理解とスキルを深めることができた。</p> <p>(課題) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成26年3月実施)において、ICT活用指導力に関するもの、「わざにできる」「ややできる」と回答した本県の教員の割合は83.4%であり、全国平均(69.4%)を上回っているものの、今後もこの割合の向上が求められる。</p> <p>今後も、授業における教員のICT活用指導力向上に資する研修内容の改善に取り組むとともに、児童生徒の学習環境の変化に対応した研修の充実に努める。</p> <p>今後の取組方針 担当課 総合教育センター</p>

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
9	競技スポーツの振興 国民体育大会天皇杯順位の向上	事業目的 中長期的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システム」の構築」と「優秀な指導者の養成」をめざす。	取組状況(H26年度分) 平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、整れた薬質を持つジュニア選手の発掘からトータップアスリートまでの流れのない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。平成26年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実践した。さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより基礎強化を図った。
10	スポーツ文化の創造	評価 (成績) 国体をはじめとする全国大会や国際大会において、高校生の上位入賞が定着しつつある競技・種目の増加傾向が見られる。 評価 (課題) 組織力や運営能力が未成熟な競技団体を継続的に育成・支援することにより競技力の底上げを図るとともに、さらには指導者の資質向上の啓發を行い競技団体と連携・協働していく必要がある。 今後の取組方針 ジニアからジニアまでの一貫した指導により、将来オリンピック出場が可能なトップアスリート選手の育成を目指す「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続するとともに、競技スポーツ向上を進めよう。	取組状況(H26年度分) 平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、整れた薬質を持つジュニア選手の発掘からトータップアスリートまでの流れのない強化体制を構築するため、「育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施することにより実践した。さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより基礎強化を図った。



10
スポーツ文化の創造
担当課 体育学部安全課

事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																											
番号	推進項目																										
11	<p>スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造 徳島県スポーツ推進計画の着実な推進</p> <p>スポーツ文化の創造</p>																										
	<p>事業目的</p> <p>少子高齢化の進行や高齢化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地城間格差の拡大などを様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成27年1月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。各市町村におけるスポーツ関係施設等のアンケートを行い、集計結果を各市町村にフィードバックするとともに、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行ったため、平成26年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr> <th>推進計画の策定</th><th>推進</th><th>推進</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>推進</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>推進</td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。</p>	(単位：人)		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	推進計画の策定	推進	推進					推進								推進
(単位：人)																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																				
推進計画の策定	推進	推進					推進																				
							推進																				
	<p>評価</p> <p>(課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。</p> <p>県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。</p> <p>今後の取組方針</p>																										
	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>担当課 県民スポーツ課</p>																										
12	<p>推進項目</p> <p>文化芸術活動の推進 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数</p> <p>伝統文化の継承と文化芸術の創造</p>																										
	<p>事業目的</p> <p>学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録数を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化をめざす。</p> <p>1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr> <th>取組状況(H26年度分)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>180</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>160</td><td>183</td><td>177</td><td></td><td></td><td>104.1%</td><td>170</td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、多くの学校が、バンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題) 各学校の文化芸術活動が幅広くなるよう、多様なジャンルの芸術家を確保し、周知に努める必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p>	(単位：人)		基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	取組状況(H26年度分)							180		160	183	177			104.1%	170
(単位：人)																											
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																				
取組状況(H26年度分)							180																				
	160	183	177			104.1%	170																				
	<p>担当課 教育文化政策課</p>																										

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
		文化芸術活動の推進 文化の森文化施設普及事業の開催回数			（単位：回）																								
13	伝統文化の継承と文化芸術の創造	<table border="1"><caption>各館で様々な普及行事を実施した。</caption><tr><td>博物館</td><td>120回</td></tr><tr><td>2.1世紀館</td><td>36回</td></tr><tr><td>近代美術館</td><td>10回</td></tr><tr><td>鳥居龍藏記念博物館</td><td>10回</td></tr></table>	博物館	120回	2.1世紀館	36回	近代美術館	10回	鳥居龍藏記念博物館	10回	各館で様々な普及行事を実施した。 ・博物館 120回 ・2.1世紀館 36回 ・近代美術館 10回 ・鳥居龍藏記念博物館 10回	事業目的	盛られた芸術作品に直接触れ合う機会を設けるとともに、県民のニーズに応じた様々な普及行事を実施し、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげる。	53回	文書館	69回	・文書館 10回	・図書館	10回										
博物館	120回																												
2.1世紀館	36回																												
近代美術館	10回																												
鳥居龍藏記念博物館	10回																												
		基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																			
		254	265	298				119.2%	250	270																			
		(成果) 県民の誰もが参加でき、楽しみながら学び、考え、知的欲求を満たすことのできる場を提供した。																											
		評価	(課題) 県民のニーズに応じた、豊富な普及行事を実施する必要がある。																										
		基準値(H23)	H25	H26																									
		254	265	254																									
		平成27年2月末に、徳島南環状道路の文化の森開通となり、交通アクセスの大大幅な向上が図られたことを契機とし、また、平成27年度は「文化の森25周年」に該当するため、引き続き、県民に足を運んでいただきたいだけなく、普及及事業の開催に努める。																											
		今後の取組方針																											
		担当課	文化の森振興本部																										
14	伝統文化と文化財の保存・継承 伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校教育課程の実施	<table border="1"><caption>県立3中学校（城ノ内中学校・富岡東中学校・川島中学校）の2年生及び、県立中学校を含む25の公立中学校1年生を対象にモデル事業を実施した。それ以外の中学校の教育課程に基づき、文化授業・体験授業・現地授業を行った。</caption><tr><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr><tr><td>—</td><td>モール校</td><td>モール校</td><td>モール校</td><td>モール校</td><td>モール校</td><td>119.2%</td><td>250</td><td>270</td></tr></table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)	—	モール校	モール校	モール校	モール校	モール校	119.2%	250	270	県立3中学校（城ノ内中学校・富岡東中学校・川島中学校）の2年生及び、県立中学校を含む25の公立中学校1年生を対象にモデル事業を実施した。それ以外の中学校の教育課程に基づき、文化授業・体験授業・現地授業を行った。	事業目的	あわ文化教育を教育課程に位置づけて、効果的にかつ継続的に、ふるさと徳島の伝統文化や文化財について学び、語りを持って県内外へ発信していくことができる生徒の育成をめざす。	53回	文書館	69回	・文書館 10回	・図書館	10回
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																					
—	モール校	モール校	モール校	モール校	モール校	119.2%	250	270																					
		基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																			
		—	モール校	モール校	モール校	モール校	モール校	119.2%	250	270																			
		(成果) 県立3中学校（城ノ内中学校・富岡東中学校・川島中学校）を含む25の公立中学校をモデル校として、あわ文化教育を実施し、教材、授業形態、方法等について検証した。																											
		評価	(課題) あわ文化習を効果的に取り入れたため、指導の工夫・改善が必要である。																										
		基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)																			
		—	モール校	モール校	モール校	モール校	モール校	119.2%	250	270																			
		平成26年度のモデル校での検証をもとに、平成27年度は全公立中学校であわ文化教育を実施し、体系的なあわ文化教育のしくみづくりを進めること。																											
		今後の取組方針																											
		担当課	教育文化政策課																										

基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

番号		推進項目		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針							
	15	学力向上策の推進 ふだん一日10分以上読書をする児童生徒の割合	事業目的	全般的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書館活動等を活性化し、貸出冊数を増加させることで学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。							
	16	確かな学力の育成	事業目的	学校図書館の活性化を通じた読書習慣づくりの取組として「読書の生活化プロジェクトⅢ」を実施するとともに、徳島県学力ステップアップテスト中の意識等調査の1項目として、小学校2年生を対象に実態調査を実施した。							
			取組状況(H26年度分)	(単位：%)							
			基準値(H23) 小5 中2	H25 70.1 58.1	H26 86.5 79.9	H27 81.9 72.5	H28 81.3 72.5	H29 81.3 72.5	達成率(H26) +3.9% +4.5%	目標値(H26) 78.0 68.0	目標値(H29) 80以上 70以上
			評価	(成果) 多くの学校において、お薦めブックリストの作成や朝の一斉読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。							
				(課題) 小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低いため、読書の生活化に向けた取組を深め、さらに啓発活動を行っていく必要がある。							
			今後の取組方針	子どもたちの身近にある環境づくりを推進するため、各学校の図書館がより一層活用されるよう、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を活用の機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクトⅣ」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。							
			担当課 学校政策課	見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。							
			事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	「全国学力・学習状況調査」における貧困紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の書く力を伸ばすための充実を促進する。							
				学力向上推進委員会や校長会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実について周知した。							
			取組状況(H26年度分)	(単位：%)							
			基準値(H24) 小6 中3	H25 87.5 82.9	H26 89.0 88.4	H27 91.3 83.2	H28 91.3 83.2	H29 91.3 83.2	達成率(H26) +1.8% -2.3%	目標値(H26) 89.5 85.5	目標値(H29) 92.5 88.5
			評価	(成果) 各種研修会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、小・中ともに基準値から実施率が上がり、小学校では目標値を超えるとともに全国平均を上回った。							
				(課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的な方策に関する情報提供を行い、指導内容等の充実を図る必要がある。							
			今後の取組方針	引き続き、指導の具体的な方策に関する情報提供を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。							
			担当課 学校政策課	平成27年度から、「学力向上策の推進」の成果指標として「全国学力・学習状況調査で調査対象となっている国語・算数(数学)の県平均正答率」を新たに設定する。							

番号	目標	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
17	確かな学力の育成 幼稚園・小学校・中学校の連携	幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の運営のための取組の推進	<p>事業目的</p> <p>園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めることも、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位 : -)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td><td>推進</td><td>推進</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 多職員間の相互交流や合同研修、児童生徒による合同活動等が実施され、連携・接続の推進が図られた。本事業の成果を「あわ(OUR)教育発表会」や広報誌「ふれあいひろば」を通して、広く県内に普及した。</p> <p>(課題) 成果の更なる普及を図る必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>幼・小・中11年間を通して「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、北島町・東みよし町を指定地域とした2年次の実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。</p>	(単位 : -)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	-	推進	推進			
(単位 : -)																					
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																
-	推進	推進																			
18	確かな学力の育成 派遣項目	担当課 学校政策課	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>授業や行事等において外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位 : -)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td><td>推進</td><td>推進</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人への思いや考えを知ることができた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々との交流のための打合せ時間の確保が課題である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>児童生徒が、外部人材や地域のボランティアの人たち等とのさらなる交流を深めることができるようにするため、「総合的な学習の時間」等の年間指導計画や全体計画の工夫改善に努めるよう指導していく。</p> <p>担当課 学校政策課</p>	(単位 : -)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	-	推進	推進			
(単位 : -)																					
基準値	H25	H26	H27	H28	H29																
-	推進	推進																			

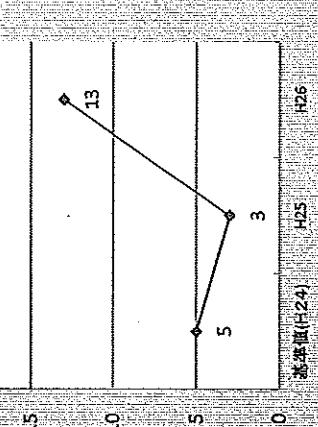
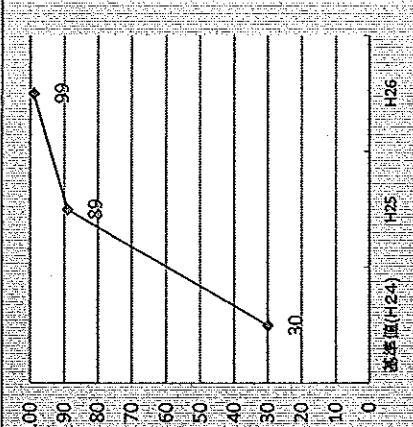
番号	推進項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																
19	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携。	事業目的 道徳部会と連携した道徳教育実践研究（指定校）事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会 取組状況 (H26年度分) <table border="1" style="width: 100%;"><tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr><tr><td>一</td><td>推進</td><td>推進</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>推進</td></tr></table> (成果) 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表校等への指導助言を行った。 (課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、連携を深めることが重要である。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	一	推進	推進					推進	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 (成績) 県小中学校教育実践研究（指定校）事業 (6校) の研究成果の普及を通じて、指導の改善に資することができた。 (課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、連携を深めることが重要である。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)												
一	推進	推進					推進												
20	豊かな心の育成 担当課 学校政策課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針 豊かな心をはぐくむボランティア活動の推進 各学校における、児童生徒のボランティア活動への参加機会の設定 担当課 学校政策課	事業目的 学校におけるボランティア教育の充実や家庭・地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。 取組状況 (H26年度分) <table border="1" style="width: 100%;"><tr><th>基準値</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H26)</th><th>目標値(H29)</th></tr><tr><td>一</td><td>推進</td><td>推進</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>推進</td></tr></table> (成果) 東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材を提供し、ボランティア活動による社会貢献への意識の高揚を図るとともに、各学校において、福祉施設の訪問、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。 (課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保、及び活動を推進するための指導力を備えた教員の育成がある。 今後の取組方針 学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	一	推進	推進					推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)												
一	推進	推進					推進												

番号	担当項目	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針													
		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針													
21	環境教育の推進 新学校版環境ISO認証取得校数（累計）（従前の学校版環境ISO認証取得校数含む）	<p>従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童生徒が地域に出向いて、環境美化活動や観察等の体験活動を積極的に行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させることを目的とする。</p> <p>さらに、この取組の成果を生かし、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然の大切にし、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。</p> <p>「新学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成26年度は5校が新規に認証取得を行っている。</p> <p>認定校及び従前の「学校版環境ISO」認定校と合わせて252校が認証取得している。</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認定校数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>252</td> </tr> </tbody> </table> <p>(結果) 平成24年度から移行した「新学校版環境ISO」認定校が238校となり、「新学校版環境ISO」が浸透しつつある。</p> <p>児童生徒、教職員が一体となった環境保全活動が家庭や地域にも広がっている。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 従前の「学校版環境ISO」認定校（14校）の「新学校版環境ISO」への移行と「新学校版環境ISO」新規校の増加が課題である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>環境・エネルギー教育推進事業連絡協議会やエコリーダー養成講座、環境・エネルギー教育発表会における講演や実践発表をより一層充実することにより、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図る。</p> <p>平成27年度から、成果指標を「「新学校版環境ISO」認証を取得した学校の割合」に変更する。</p>	年度	認定校数	H24	220	H25	245	H26	252				
年度	認定校数														
H24	220														
H25	245														
H26	252														
45	施設・成果指標 担当課：学校政策課	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>改善傾向にあるものの、体力・運動能力の低下、運動をする子としない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体の状況から、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・地域・家庭が連携した取組を推進し、その実現を図る。</p> <p>1 小学生3・4年生を中心に新体カテストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。</p> <p>2 小学校の体育授業に県内プロスポーツ団体や大学教員等による指導者の派遣を行った。</p> <p>3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成をめざす取組や、年度初めの歩数よりプラス1,000歩をめざす取組を実施した。</p> <p>4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繋り返し記録に挑戦できるランキングシステムの利用を促進した。</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>得点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(結果) 平成26年度の全国体力運動能力調査の結果（小学校5年生・中学校2年生）を平成21年度（悉皆調査）と比較すると、34種目中、全国平均を上回る種目数が3から12に増加、27種目で記録が向上した。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 実技調査「上体起こし」の測定による筋持久力や、「20mシャトルラン」、「持久走」による全身持久力に課題が見られる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、正しい生活習慣の形成に向けた取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めいく。</p> <p>平成27年度から、成果指標を「『全国体力・運動能力、運動習慣等調査』結果における全国平均以上の種目数」に変更する。</p>	年度	得点	H22	24	H23	26	H24	28	H25	30	H26	32
年度	得点														
H22	24														
H23	26														
H24	28														
H25	30														
H26	32														
22	施設・成果指標 担当課：体育学級安全課	<p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>健やかに生きる力の育成</p> <p>22</p>	<p>事業目的</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>得点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>(結果) 平成26年度の全国体力運動能力調査の結果（小学校5年生・中学校2年生）を平成21年度（悉皆調査）と比較すると、34種目中、全国平均を上回る種目数が3から12に増加、27種目で記録が向上した。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 実技調査「上体起こし」の測定による筋持久力や、「20mシャトルラン」、「持久走」による全身持久力に課題が見られる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、正しい生活習慣の形成に向けた取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めいく。</p> <p>平成27年度から、成果指標を「『全国体力・運動能力、運動習慣等調査』結果における全国平均以上の種目数」に変更する。</p>	年度	得点	H22	35	H23	36	H24	38	H25	39	H26	40
年度	得点														
H22	35														
H23	36														
H24	38														
H25	39														
H26	40														

番号		施策・成果指標		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針					
番号	施策項目	学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施 （公立小中学校）		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針					
23	健やかに生きる力の育成			<p>「徳島県食育推進計画」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <p>評価</p> <p>今後の取組方針</p> <p>(成績) 全公立小・中学校で授業実践を行うことにより、児童生徒が自身の食に関する課題解決にじっくり取り組み、望ましい食習慣について考えることができた。</p> <p>(課題) 栄養教諭・学校栄養教諭が、置駅校や置巡回型駅校から未配置校に走りて授業をすることが、時間等の制約で困難であった。</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図ることとともに、栄養教諭が未配置校に走りて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。</p> <p>平成27年度から、成果指標を「栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業を実施する学年の割合」に変更する。</p> <p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p>					
24	健やかに生きる力の育成			<p>地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。</p> <p>事業目的</p> <p>取組状況(H26年度分)</p> <p>評価</p> <p>(成績) 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。</p> <p>2年2回の地場産物活用率調査を実施した。（6月・11月）</p> <p>「旬の食材活用月間」「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。</p> <p>3生産者団体等と地場産物活用推進のための会議を開催した。</p> <p>4(課題) 県産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、県産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>(成績) 地場産物活用の呼びかけにより、学校給食における地場産物の活用が進んでいる。</p> <p>5(課題) 县産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、県産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。</p> <p>6(課題) 市町村や生産者団体との連携をとりながら、地域の実態や各調理場の食教に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進めめる。</p> <p>7(課題) 見直しの結果、平成27年度・28年度の目標値を上方修正する。</p> <p>今後の取組方針</p>					

番号		施策・成果指標		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針									
推進項目	学校保健の充実 健康課題に対する地域検討会、研修会、講演会等の開催回数(累計)	事業目的	事業目的	H25			H26			H27			
25	健やかに生きる力の育成	事業目的	事業目的	基準値(H24)			H25			H26			
		評価	評価	20	40	56	20	40	56	H28	H29	達成率(H26)目標値(H29)	
		(成績)	(成績)	協議会・対策会を4回実施し、アレルギー疾患(1件)、熱中症予防(1件)、生活習慣病予防(1件)、生活習慣病予防(1件)、耳鼻科(1件)、眼科(1件)、歯科(2件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。	(成績)	(成績)	124.4%	45	45	90	90	(単位：回)	
		(課題)	(課題)	生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。	(課題)	(課題)							
		今後の取組方針	今後の取組方針	食育や体力向上との関連を取り組む。また、地域、家庭、専門家が連携した効果的な取組についての研究を支援する。また、地域、家庭、専門家が連携した効果的な取組について「肥満傾向の児童生徒数(小中学校)」を新たに設定する。	今後の取組方針	今後の取組方針							
番号	施策・成果指標	事業目的	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針						H26			
26	個性がひらく特別支援教育の推進	事業目的	事業目的	H24			H25			H26			
		評価	評価	基準値(H24)	73.7	80.0	87.4	73.7	80.0	87.4	H28	H29	達成率(H26)目標値(H29)
		(成績)	(成績)	障がいのある児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。	(成績)	(成績)	+9.4%	78	78	85.0	85.0	(単位：%)	
		(課題)	(課題)	1. 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、地域特別支援連携協議会等において、具体的な作成手順や活用方法等について周知を図った。 2. 具立巡回相談員が作成している「個別の教育支援計画」の手引き等も活用し、特別支援教育巡回相談員が相談や校内研修の時などを通じて、作成についての助言を行った。	(課題)	(課題)							
		今後の取組方針	今後の取組方針	担当課 特別支援教育課	担当課 特別支援教育課	担当課 特別支援教育課							

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
	就労支援学校の充実 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計)	事業目的 協力いただける事業所等で適性に応じた就業体験を行なうため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に取り組む。																									
27	個性がひらく特別支援教育の推進	事業状況 H26年度分	<p>1 特別支援学校進路指導主事11名が職場開拓を行った回数→2146回 2 新規に進路開拓した事業所数→113事業所 3 平成26年度に進路開拓した事業所のうち、就業体験を受け可能と答えた事業所数→101事業所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300</td> <td>352</td> <td>453</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>113.3%</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 進路指導主事等が中心になり、新たに101事業所を開拓することができた。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	300	352	453				113.3%	400								450
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																				
300	352	453				113.3%	400																				
							450																				
	担当課 特別支援教育課	評価	<p>(課題) 特別支援学校では、生徒が事業所での就業体験を繰り返し行うことで卒業後の就労に結びついている。そのため、進路指導主事を中心として生徒に応じた就業体験先の確保とマッチングが課題となっている。</p> <p>徳島労働局・ハローワークや商工労働部労働雇用課、障害者雇用を支援する徳島企業ネットワークなど関係機関と協力し、特別支援学校を応援する企業応援修習を開催し、就業体験協力事業所を積極的に開拓する。</p> <p>平成27年度から、「就労支援の充実」の成果指標として「県立特別支援学校高等部卒業生のうち、就職を希望する生徒の就職率」を新たに設定する。</p>																								
	就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受検者数	事業目的 特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
28	個性がひらく特別支援教育の推進	事業状況 H26年度分	<p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス（自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ）、接客（喫茶サービス）、介護（シーツ回収）、ICT（ワープロ入力）の4分野を実施し、延べ353名の生徒が受検して合格認定を受けた。平成25年度から26年度にかけては、新たにICT分野の上位段（1～2級）の設置、各参加校での取組の拡大等により、受検者数が増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65</td> <td>226</td> <td>353</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>320.9%</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し353名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	65	226	353				320.9%	110								140
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																				
65	226	353				320.9%	110																				
							140																				
	担当課 特別支援教育課	評価	<p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。</p>																								

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
29	発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数	事業目的 事業目標は、発達障がい者総合支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムによる、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを中心とした、地域若者サポートシステムの構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいある高等学校の生徒の就労支援を実施する。	取組状況 (H26年度分)  評価 評価基準(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 目標値(H29) 5 3 13 86.7% 15 15 (結果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、「高校に在籍する生徒が障がい者手帳を使って就労するケースの支援」など具体的な事例を通して方策を提示・情報交換することにより、高等学校だけではなくかつ就労支援策を実施することができた。 (課題) 発達障がいに関するICTネットワークを活用した相談は、従来のテレビ会議システムにはない新しい取組のため、各高等学校や特別支援教育巡回相談員が参加しやすい相談形態を工夫する必要がある。
30	発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数	事業目的 徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。	取組状況 (H26年度分)  評価 評価基準(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 目標値(H29) 30 39 99 165.0% 60 100 (結果) 県内外を中心に、目標値を上回る99校の参加があった。また所年度の課題として挙げていたワークショップ形式の研修を、第2回研究会で取り入れることができた。 (課題) 本研究会で発信したような内容を、各園や学校での実践に広げていく中で、その実践の様子や課題についてフィードバックするような場も今後は設けていく必要がある。

番号	推進 項目	施策・成果指標	施策・成果指標
31	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 徳島県人権教育推進方針の改定・推進	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針

事業目的	人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権教育をさらに推進し、充実を図ていく。
	平成25年度に作成したリーフレット「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」をもとに、各種研修会や学校訪問等を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記をした内容の周知に努めた。また、推進方針に追記した内容についても、その具体実践を行うための指導者用資料を作成した。
取組状況 (H26年度 分)	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 改定準備 改定 周知
	(結果) 各種研修会や学校訪問を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に追記した内容を周知するとともに、具体実践につながる指導者用資料を作成することができた。
評価	(課題) 追記した内容や本年度作成した指導者用資料の周知とともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育をさらに推進する必要がある。
	様々な機会を通じて、リーフレットや指導者用資料を活用した人権教育の具体実践を進め、人権教育の充実を図っていく。
今後の 取組方針	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)
改定準備	改定	周知					推進

(位置: 一)

事業目的	人権教育課
	担当課 人権教育課
取組状況 (H26年度 分)	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 8 8 8 8 8 8 100.0% 8 8
	(結果) ホームページ等での情報発信
評価	○県指定(高川原幼稚園、坂野幼稚園、国府支援学校、徳島中央高等学校) ○文部科学省指定(高川原小学校、新開小学校、岩倉中学校、阿南中学校) 1 研究指定校の指定 2 研究発表会の開催 12月10日(国府支援学校) 11月14日(岩倉中学校) 3 ホームページ等での情報発信
	(課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、さらに工夫改善を行っていく必要がある。
今後の 取組方針	研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、人権教育の充実を図っていく。
	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針

基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)
8	8	8					8

(位置: 校)

事業目的	人権教育課
	担当課 人権教育課
取組状況 (H26年度 分)	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 8 8 8 8 8 8 100.0% 8 8
	(結果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実を図るとともに、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育講師のホームページ上で情報発信等により、研究の成果を広く県内各園・校に普及し、人権教育の充実を図ることができた。
評価	(課題) 研究指定長への支援、研究成果等の普及については、さらに工夫改善を行っていく必要がある。
	研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、人権教育の充実を図っていく。
今後の 取組方針	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	人権教育課

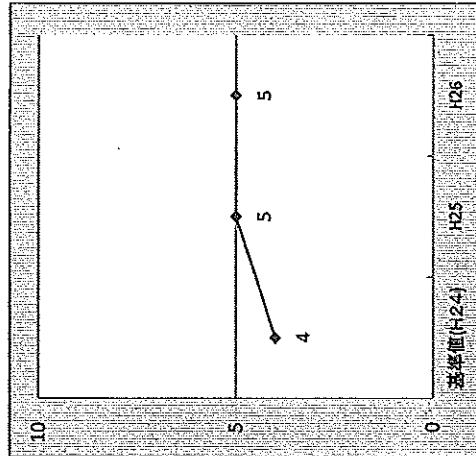
32

事業目的	人権教育課
	担当課 人権教育課
取組状況 (H26年度 分)	基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 8 8 8 8 8 8 100.0% 8 8
	(結果) 研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、人権教育の充実を図っていく。
評価	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	人権教育課

番号	担当項目	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																										
	教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数	<p>事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td><td>初任者研修（人権教育）（8月8日）</td><td>学校リーダー研修（人権教育）小・中学校（5月28日・6月3日）、高等学校・特別支援学校（4月11日・5月20日）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>「あわ」じんけん講座</td><td>実践力向上講座（8年目の数員）幼（8月18日），小（7月24日），中（7月28日），高・特（7月25日）</td></tr> <tr> <td>3</td><td>②指導力充実講座（10年経験者）</td><td>人権教育主事研修会 年間3回</td></tr> <tr> <td>4</td><td>教職5年次研修（人権教育）</td><td>小（12月2日），中・特（11月25日），高・養（11月27日）</td></tr> <tr> <td>5</td><td>取組状況（H26年度分）</td><td>（単位：回）</td></tr> </table> <p>評価</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr> <td>4</td><td>5</td><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td>125.0%</td><td>4</td></tr> </table> <p>（成果）従来の基本研修や職務研修など「あわ」じんけん講座と人権問題の理解と人権意識の高揚につながっている。</p> <p>（課題）人権教育の他にも様々な内容の研修が求められており、研修内容の充実をさらに図ることとともに、総合教育センター等との連携を密にして、研修機会をさらに確保していく必要がある。研修機会をさらに確保していくために、各学校教育委員会が主催する研修会等においても、総合教育センター等との連携を密にして、人権教育セミナー等ともに、研修内容・指導方法の改善・充実を図る。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>取組状況（H26年度分）</td><td>基準値(H23)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr> <td>224</td><td>287</td><td>224</td><td>256</td><td></td><td></td><td></td><td>88.3%</td><td>290</td></tr> <tr> <td>256</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td></tr> </table> <p>評価</p> <p>（成果）豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>（課題）各学校等から依頼のある個人が講義題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人権講題を取り上げた研修が行われるよう必要がある。</p> <p>今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p> <p>今後の取組方針</p>	1	初任者研修（人権教育）（8月8日）	学校リーダー研修（人権教育）小・中学校（5月28日・6月3日）、高等学校・特別支援学校（4月11日・5月20日）	2	「あわ」じんけん講座	実践力向上講座（8年目の数員）幼（8月18日），小（7月24日），中（7月28日），高・特（7月25日）	3	②指導力充実講座（10年経験者）	人権教育主事研修会 年間3回	4	教職5年次研修（人権教育）	小（12月2日），中・特（11月25日），高・養（11月27日）	5	取組状況（H26年度分）	（単位：回）	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	4	5	5				125.0%	4	取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	224	287	224	256				88.3%	290	256								300
1	初任者研修（人権教育）（8月8日）	学校リーダー研修（人権教育）小・中学校（5月28日・6月3日）、高等学校・特別支援学校（4月11日・5月20日）																																																										
2	「あわ」じんけん講座	実践力向上講座（8年目の数員）幼（8月18日），小（7月24日），中（7月28日），高・特（7月25日）																																																										
3	②指導力充実講座（10年経験者）	人権教育主事研修会 年間3回																																																										
4	教職5年次研修（人権教育）	小（12月2日），中・特（11月25日），高・養（11月27日）																																																										
5	取組状況（H26年度分）	（単位：回）																																																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																																																					
4	5	5				125.0%	4																																																					
取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																																																				
224	287	224	256				88.3%	290																																																				
256								300																																																				
番号	担当課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																										
	人権教育課	<p>事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づいて指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>取組状況（H26年度分）</td><td>基準値(H23)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr> <td>224</td><td>287</td><td>224</td><td>256</td><td></td><td></td><td></td><td>88.3%</td><td>290</td></tr> <tr> <td>256</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td></tr> </table> <p>評価</p> <p>（成果）豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>（課題）各学校等から依頼のある個人が講義題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人権講題を取り上げた研修が行われるよう必要がある。</p> <p>今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p> <p>今後の取組方針</p>	取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	224	287	224	256				88.3%	290	256								300																															
取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																																																				
224	287	224	256				88.3%	290																																																				
256								300																																																				
番号	担当課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																										
	人権教育課	<p>事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づいて指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>取組状況（H26年度分）</td><td>基準値(H23)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H26)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr> <td>224</td><td>287</td><td>224</td><td>256</td><td></td><td></td><td></td><td>88.3%</td><td>290</td></tr> <tr> <td>256</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td></tr> </table> <p>評価</p> <p>（成果）豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。</p> <p>（課題）各学校等から依頼のある個人が講義題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人権講題を取り上げた研修が行われるよう必要がある。</p> <p>今後とも、幅広い研修の要望に応えられる体制を整えていく。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。</p> <p>今後の取組方針</p>	取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)	224	287	224	256				88.3%	290	256								300																															
取組状況（H26年度分）	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H29)																																																				
224	287	224	256				88.3%	290																																																				
256								300																																																				

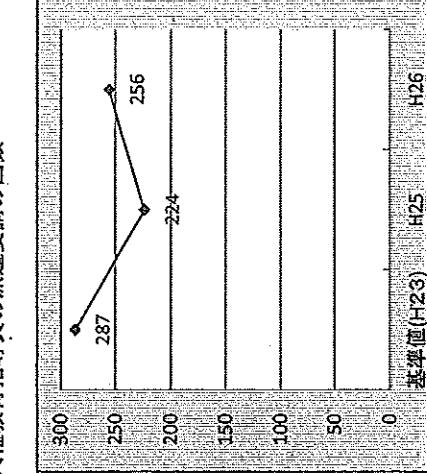
行動につながる人権教育の推進

33



行動につながる人権教育の推進

34



行動につながる人権教育の推進

51

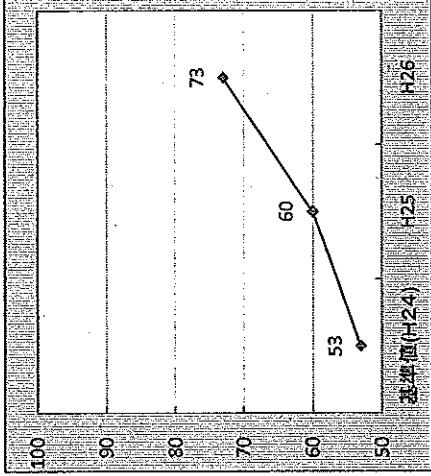
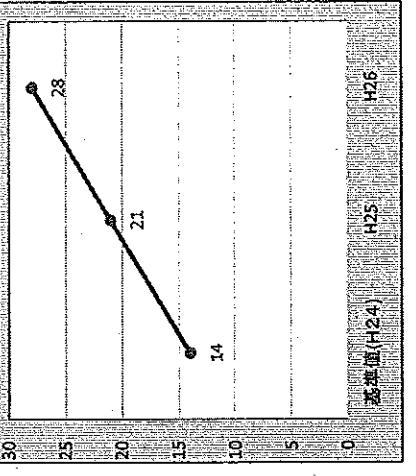
	番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
35		行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実、人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数	<p>「ありがとう」の気持ちを短い手紙（メッセージ）で表現した作品の募集を通じて、感謝の気持ちから生じる人とひとつのつながりの大切さや人権尊重の重要性について考える機会を県民のものについた。「ありがとう」人権尊重の精神の醸造を尊重する。また、その作品を人権教育・啓発資料に活用することにより、県民一人一人に向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。</p> <p>1 作品募集 县内の幼稚園児から大人の方まで6,173点の作品応募があった。 2 優秀作品の表彰式 ヒューマンフェスタ2014（12月14日）において、優秀作品（43作品）を表彰するとともに作品の展示を行った。 3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用ペネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できるようにした。</p> <p>（単位：作品）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況 (H26年度分)</th> <th>基準値 (H21～24平均)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3,000</td> <td>5,857</td> <td>6,173</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>199.1%</td> <td>3,100</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>（結果）平成25年度を上回る6,173点もの作品応募があった。作品募集とともに表彰形式や優秀作品のペネル展示、ペネルの貸出などにより、多くの県民が人権について考える機会とすることことができた。</p> <p>評価</p> <p>本事業は、毎年、児童生徒に広く普及してきつつある。今後は、一般の部の作品の充実に向けて広報に努めいく。また、広く人権尊重の思いをテーマにした作品であるため、学校や地域社会において人権意識の高揚を図るために、効果的な作品の活用が必要である。</p> <p>作品募集について工夫し、さらに機会を捉えて作品ペネルの展示や貸出を行うとともに、作品集を学校や社会教育施設へ配付し、効果的な作品の活用を図る。</p> <p>今後の取組方針</p>	取組状況 (H26年度分)	基準値 (H21～24平均)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)		3,000	5,857	6,173				199.1%	3,100	3,500
取組状況 (H26年度分)	基準値 (H21～24平均)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)															
	3,000	5,857	6,173				199.1%	3,100	3,500															
36		担当課 人権教育課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	<p>中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>事業目的</p> <p>中・南・西の各ブロックで中・高校生等が交流しながら、人権教育の理念について語り合うことを通して、人権尊重の理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高校による人権交流集会」には358名の参加者がおり、人権コンサートの後の分科会では、「在日問題について考え方」「アンネの日記・ホロコーストから学ぶ平和と人権」「災害と人権」のテーマで各プロジェクトの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告発表が行われた。</p> <p>（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組状況 (H26年度分)</th> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H26)</th> <th>目標値(H26)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>412</td> <td>371</td> <td>358</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>85.2%</td> <td>420</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>（結果）各ブロックの生徒部会や実行委員会では、現地研修や講演会等を通して積極的な交流や意見交換が行われた。交流集会にも358名の参加があり、校舎を超えた活発な意見交換が行われ、人権の意義や重要性についての理解が深まるところに、人権問題を強く見抜く感性の育成が見られた。</p> <p>評価</p> <p>さらに多くの生徒が参加して、共に学び交流が図れるように、内容や日程・実施会場の工夫を図っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>交流集会の進め方や生徒が参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるようになります。中・高校等が一同に会して人権について語り合うことを通して、人権意識の醸成と人権問題の解決に向けた実践力を持った生徒を育てる。</p> <p>担当課 人権教育課</p>	取組状況 (H26年度分)	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)		412	371	358				85.2%	420	450
取組状況 (H26年度分)	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)															
	412	371	358				85.2%	420	450															

番号	推進項目	施策・成果指標		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針						
		基準値(H24)	実績値(H25)	H26	H27	H28	H29	達成率(H26)	目標値(H26)	目標値(H29)
37	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	300	255					121.4%	210	300
	学校での芸術家等活動回数(累計)	100	191	255						
	事業目的	を整える。その結果として、児童・生徒の感動する心、自己表現する楽しさ等、心の潤いと元気の源を提供し、豊かな感性と情操を養う。								
	取組状況(H26年度分)	1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 2 徳島県児童演劇地方巡回公演	巡回事業 派遣事業 派遣回数	36回 26回 2回						
	評価	(成果) 文化庁事業・県費事業とともに、県作成の「文化教育人材パンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施し、目標値を上回る成果を残した。 (課題) 優れた芸術に触れる機会である本事業の内容や実施効果を広報する必要がある。								
	今後の取組方針	今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広報等により、新規実施校の開拓を含め、さらなる学校での芸術文化活動の振興を図る。 平成27年度から、成果指標を「学校への芸術家等派遣事業に参加した児童生徒数」に変更する。								
	担当課	教育文化政策課								

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

番号		施策・成果指標		事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針		
番号	項目	学校・家庭・地域の連携「とくしま教育の日(週間)」の効果的な事業の実施	事業目的	取組状況(H26年度分)	評価	
38	学校・家庭・地域の連携の推進	「シンボルマーク」を活用し、広報に努めた。実施事業の効果的な広報に努めた。	(成績) 学校・家庭・地域の連携を深めるとともに、開かれた学校づくりを推進するため、県立学校、小中学校においてオーブンスクールが開催されたほか、読書や文化祭を通した保護者や地域との交流会などの学行事が数多く開催された。 (課題) 効果的な事業の実施について、各関係団体、関係機関に対してさらに協力を求める。	基準値 H25 - シンボルマークを活用した広報、菜の実施	H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 効果的な事業の実施	目標値(H26) 事業の充実
39	生涯学習政策課	施策・成果指標	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	取組状況(H26年度分)	評価	
	担当課 教育経営課	学校・家庭・地域の連携 全小学校区での放課後や休日ににおける体験活動等 全小学校区の実施率	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用した「放課後子供教室」の開設を促進し、すべての子どもを対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子どもたちの活動拠点(居場所)づくりを推進する。	「放課後子供教室」 「放課後児童クラブ」 「児童館」の小学校区における実施率 「放課後子供教室」48教室 放課後児童クラブ数150クラブ 児童館数59 「教育活動サポーター等研修会」を実施し、日常の支援活動における児童理解等について、具体的な事例をもとに研修し、子どもたちへの適切な関わり方にについて学ぶ機会をもつた。 また、放課後子供教室、放課後児童クラブ、児童館、学校サポーターズクラブそれぞれの代表者によるセミナー(活動発表会)を開催し、相互に事業を理解し合うとともに、応急処置や不審者対応等について研修し、指導員の力量アップと安全意識の向上を図った。	基準値(H23) 76 評価 今後の取組方針	H25 87 H26 89 H27 87 H28 89 H29 達成率(H26) +4.0% 目標値(H26) 90

番号	推進項目	施策・地域の連携		施策・成果指標					
		学校・家庭・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計)	事業目的	学校・家庭・地域の連携	事業目的				
40	学校・家庭・地域の連携の推進	<table border="1"><caption>基準値(H23)</caption><tr><td>15,311</td></tr><tr><td>13,024</td></tr><tr><td>13,024</td></tr><tr><td>9,080</td></tr></table>	15,311	13,024	13,024	9,080	子どもたちの読書活動への興味・関心を高め、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子どもの読書活動を推進するための環境整備をする。	県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」による「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催するとともに、子どもたちの読書活動への興味・関心を高める子どもの県立図書館見学等の行事も随時実施し、1,949名の参加があつた。また、県民協働による課題解決事業として、NPO団体等と「子どもと本をつなぐための講座」を開催し、読書団体等のスキルや意識の向上に努め、338名の参加を得た。以上のイベント参加者は、2,287人であった。	子どもたちの読書活動を推進するため、児童生徒を対象に、掲載図「子どもたちの読書活動推進アクション」事業において、ブックリストの普及促進のため、児童生徒を対象に、掲載図「子どもたちの読書活動推進アクション」事業において、ブックリストなどを募集したところ、1,054点の応募があった。 (単位：人)
15,311									
13,024									
13,024									
9,080									
55	担当課 生涯学習政策課	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	評価	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	評価				
	学校・家庭・地域の連携	県立図書館での定期的な「おはなし会」やボランティアによる「おはなし会」の開催をはじめ、子どもたちの館内見学を積極的に行い、子どもたちが本・読書にふれあう機会を拡充した。子どもたちのブックリストに対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子どもたちのブックリストへの関心を高めることができた。	取組状況(H26年度分)	県立図書館での取組は充実しているが、県内の読書ボランティア等のネットワーク作りを進めるイベントなどを、積極的に企画・実施していく必要がある。	県民や「徳島原子供の読書活動推進協議会」からのお意見・提言を反映させた推進活動によつて、子どもたちの読書活動に取り組む気運を高めていく。子どもたちの読書活動に関する新しい読書活動の取組などを紹介も実施したい。				
	人権教育総合推進地域の指定	作成した両ブックリストをより一層活用した啓発活動を継続するとともに、県民や「徳島原子供の読書活動推進協議会」からのお意見・提言を取り組む気運を高めていく。子どもたちの読書活動に取り組む気運を高め、ホームページ等で提供する。新しい読書活動の取組などを紹介も実施したい。	今後の取組方針	見直しの結果、平成27年度以降の目標値を上方修正する。	研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。(第1回 6月26日 第2回 2月17日)				
41	学校・家庭・地域の連携の推進	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	評価	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針	評価				
	人権教育総合推進地域の指定	学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を高め、一人一人を大切にした教育の充実に資する研究を実施する。	取組状況(H26年度分)	1 総合推進地域の指定 文部科学省指定として、鳴門市と上板町の2地域を指定して研究を実施した。 2 連絡協議会の開催 研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。(第1回 6月26日 第2回 2月17日) 3 研究成果の普及 ホームページで総合推進地域の取組について情報を発信した。	連絡協議会では、学校教育と社会教育の取組を一緒に協議し、校種間の接続や連携・協力の視点から人権教育の総合的な連携に努めることができた。				
	人権教育総合推進地域の指定	<table border="1"><caption>基準値(H24)</caption><tr><td>5</td></tr><tr><td>4</td></tr><tr><td>3</td></tr></table>	5	4	3	学校・家庭・地域の連携	2 総合推進地域の指定	総合推進地域への支援、研究成果等の普及については、さらに工夫改善を行っていく必要がある。	
5									
4									
3									
	人権教育総合推進地域の指定	<table border="1"><caption>基準値(H24)</caption><tr><td>0</td></tr><tr><td>0</td></tr><tr><td>0</td></tr></table>	0	0	0	学校・家庭・地域の連携	3 総合推進地域の指定	人権教育研究推進の連絡協議会を実施し、総合推進地域における研究や取組の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。	
0									
0									
0									
	担当課 人権教育課	今後の取組方針	担当課	人権教育課					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成26年度の取組状況、評価、今後の取組方針
	家庭教育に関する学習機会を提供する講座数	地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、地域において家庭の求めに応じた子育て支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。	事業目的	地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援活動の理論・技術を得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた子育て支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。
42	「幼学校・児童期・家庭成長を支える連携の推進」の取組の推進		取組状況(H26年度分)	平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開講した。講座内容に、子や孫との活動（レクリエーション）を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう工夫した。平成26年度は6講座を開催し34人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークライフバランス意識の高揚を図るために講座もを行い、22組45人の受講があった。 (結果) 基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 自標値(H29) 53 60 73 104.3% 70 100 (課題) 市町村の家庭教育支援活動において、養成講座受講修了者を活用できるようガイドダンス機能を高めていかなければならない。
43	学校・家庭・地域の連携の推進		取組状況(H26年度分)	「ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業」において、引き継ぎ子育て世代にとつてより身近な祖父母と父親を対象に、昔の子育ての知恵の活用や父親の家庭教育参画について学ぶ家庭教育講座を開講し、家庭教育支援者を養成する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動提供等、受講者のこれから活動の支援を推進する。 (結果) 基準値(H24) H25 H26 H27 H28 H29 達成率(H26) 目標値(H26) 自標値(H29) 14 21 28 147.4% 19 28 (課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。 (課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。 (課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。